

## 天窓の明るさ予測技術を開発

# 効果的な設計で 太陽光最大活用

天窓メーカーのスカイプランニング（浜松市北区、外山勸社長）は、天窓を通して自然光の明るさを予測する技術を県工業技術研究所と共同開発した。太陽光を最大限に活用することで昼間の照明電力削減が実現でき、店舗や工場などへの販売を強化する。

同社が金属屋根に設置する天窓は、これまでの経験を基に設置数や位置を決めていた。顧客のニーズや効果的な設置条件に対応するため、工業技術研究所の協力で、季節

### スカイプランニング

によって変わる太陽の方向や高度をデータ化。天窓を通った光が、どのように入内するかをコンピューターで予測する技術を開発した。太陽光の天窓透過率や

### 店舗や工場向け販路拡大

拡散度などの特性を突き止めることにより、天窓の施工前に効果的な窓の配置、設計が可能になった。太陽光照明の効能を提示することで、新規の顧客ニーズを獲得したい考え。「省エネへの関心が高まる中、自然光の長所をPRしていきたい」（同社）とし、ホームセンターなどの店舗向けに販路を広げる方針。研究開発は独立行政法人の科学技術振興機構による研究成果の最適展開に向けた支援事業（地域ニーズ即応型）を活用した。